

平成29年度

法人運営事業報告

社会福祉法人

わらしべ舎

法人運営事業報告

- ◆平成 30 年度 仙台市障害福祉サービス事業所選定公募の説明会が 8 月 31 日に行われ、法人として計画書等必要書類を添えて、9 月 22 日、仙台市に本申込みを行った。10 月 5 日にヒアリングが行われ、法人から理事長、施設長、経理担当者が出席し、羽黒台の土地（法人所有地）で申込みを行う法人としての考えを伝え、事業計画や資金計画等の説明を行った。今回の公募からは落選したが、次回（平成 32 年度）選定公募に向けて、建物・設備計画、資金計画、人材育成計画等の作成を行い、準備を進めていくことの確認を行った。
- ◆11 月 1 日より、グループホーム「ハーモニー西の平」の新規オープンとハーモニー金剛沢とハーモニー山田北前の新たな入居者の一部が加わり、グループホームの組織改編を行った。グループホームの整備に伴い、ハーモニー人來田とハーモニー日本平は閉鎖をした。「ハーモニー西の平」は新規オープンして 5 ヶ月が経過し、入居者のグループホームでの暮らしは少しずつ定着してきた。しかし支援者不足の状況は続いており、すべての入居者の宿泊希望に対応できない状態が続いている。支援体制の確立は今後の課題である。
- ◆レスパイト事業（障害者家族支援等推進事業）では、市内にある 1 つのレスパイト事業所が閉鎖し、そちらを利用していた利用者を積極的に受け入れ、登録者増や利用状況の増加に繋がった。しかし上半期後半、担当職員の退職があり、受け入れ態勢が整わず、制限を設けての受入状況が続いている。利用者は比較的障害の重い方が多く、また年齢の幅が広いところもあり、そこに対応していくために西多賀工房職員が兼務で行っている。

平成29年度

事業報告

- *多機能型事業所 わらしべ舎西多賀工房（生活介護・就労B型）
- *共同生活援助事業（グループホームわらしべ舎）
- *仙台市障害者家族等推進事業（ひだまりステイ）
- *仙台市グループホームサポート事業）

社会福祉法人

わらしべ舎

生活介護事業

生活介護事業とは利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う事業

<利用者状況>

生活介護事業 (エコ班)	実人数(定員)		男女構成		年齢構成(平均: 35.3歳)			
	22人(20人)		男	女	10代	20代	30代	40代
			10人	12人	0人	5人	11人	6人
	支援区分構成(平均: 4.8)						療育手帳	
	1	2	3	4	5	6	A	B
			1人	7人	8人	6人	21人	1人

<支援体制>

	施設長	サービス管理 責任者	生活支 援員	経理(管理栄 養士)・事務員	運転手兼業務員	看護師
生活介護 (エコ班)	1人 (兼務)	1人(兼 務)	5人	2人 (兼務)	1人 (兼務)	2人

<主な活動・作業>

- デザインTシャツ、手ぬぐい、ハンカチづくり
- 手工芸品づくり(サッサドール、コースター、ランチョンマット等)
- BDF(バイオ燃料)づくり
- 天沼公園清掃活動・ホテル飼育と環境作り・EM発酵液づくり
- 余暇活動(体力作り・ジョイフルタイム・外出レク等)

<工賃>

日給: 400円

平成29年度 生活介護事業報告

【実施内容】

- 学校やイベント等での販売で、子供たちをターゲットにした新製品(ビーズ製品)を開発し、販売した。
- ミニ手ぬぐいの大量注文(後援会主催の映画会)があり、大きな収益となった。
- さくら会(家族会)や後援会から業務依頼をうけ、館内の清掃活動や後援会報発送作業を請け負い、収益に繋がった。
- 通院が必要な利用者に嘱託医の協力も得て、グループホームや家庭と連携して、通院支援を行った。

就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う事業

<利用者状況>

就労継続支援 B型事業 (石けん・ カレー班)	実人数（定員）		男女構成		年齢構成（平均：33.8歳）			
	26人（20人）		男	女	10代	20代	30代	40代
			18人	8人	0人	7人	13人	6人
	支援区分構成（平均：3.3）					療育手帳		
	未判定	1	2	3	4	5	A	B
1人		4人	8人	11人	2人	14人	12人	

<支援体制>

	施設長	サービス管理 責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成 指導員	経理（管理栄 養士）・事務員	運転手兼業務員
就労B型 (石けん・カレー班)	1人 (兼務)	1人 (兼務)	3人	2人	1人	2人 (兼務)	1人 (兼務)

<主の活動・作業>

- 食廃油を利用した無添加粉石けんづくり
- 廃油回収（学校、保育所、福祉施設、飲食店等）
- カレーショップ“桜蔵”での接客業務
- レトルトカレー製造
- 移動販売車での販売

<工賃>

日給：650円（石けん班）
750円（カレー班）

平成29年度 就労継続支援B型事業報告

【実施内容】

- おらしべ舎オリジナル固形石けん（オリーブ、ドクダミ、レッドクレイ、アボガド&アーモンド）を開発し、販売を開始した。
- 石けんの営業活動を行い、2つの障害者支援施設と契約を結ぶことができ、大きな取引先に繋がった。
- レトルト新製品（手羽元カレー）発売に向けて、パッケージのデザインをデザイナーの協力を得て、利用者さんの絵を取り入れたパッケージにしていくために検討中。また、今までのレトルト製品のパッケージリニューアルもこれを機に見直しを図っている。（平成30年6月発売予定）
- 1名のカレー班利用者が施設内就労に向けて、家族、相談支援事業所と協力して進めている。

共同生活援助（グループホーム）
グループホームわらしべ舎

共同生活援助（グループホーム）事業

共同生活援助（グループホーム）事業は、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う事業

<共同生活援助（グループホーム）>

グループホーム名	開所年	定員	ホーム性別	年齢構成	平均年齢	区分構成	療育手帳
ハーモニー 金剛沢	平成 20 年 8 月	4 人	男性	30代：1人 40代：3人	39 歳	区分 2：1 人 区分 3：1 人 区分 4：2 人	A：4 人
ハーモニー 山田北前	平成 26 年 10 月	4 人	女性	20代：2人 30代：2人	28.7 歳	区分 2：1 人 区分 3：2 人 区分 4：1 人	A：2 人 B：2 人
ハーモニー 西の平 A	平成 29 年 11 月	10 人	男性	30代：5人 40代：5名	39.5 歳	区分 3：1 人 区分 4：3 人 区分 5：4 人 区分 6：2 人	A：10 人
ハーモニー 西の平 B	平成 29 年 11 月	10 人	女性	20代：1人 30代：4人 40代：4人 60代：1人	37.5 歳	区分 3：2 人 区分 4：3 人 区分 5：4 人 区分 6：1 人	A：9 人 B：1 人

<支援体制>

	管理者	サービス管理責任者	世話人兼生活支援員	職員（兼務）
グループホーム わらしべ舎	1 人 (兼務)	1 人	18 人	1 人

平成 29 年度 共同生活介護（グループホーム）事業報告

【実施内容】

- グループホームの整備（新規ホーム、自立促進ホーム（2 ホーム））を行うことにより、新たに 12 名の入居者の受入を行った。（定員 16 名→28 名）
- グループホームの整備をきっかけに、食事提供と料金を見直し、ハーモニー西の平は配食サービスを、自立促進ホーム（ハーモニー金剛沢、山田北前）は食材のみ取寄せ世話人が調理する方式に変更を行った。
- 支援者である世話人の確保を行っていくため、待遇面を見直し、地域へチラシの配布、ハローワークや人材センター等への掲載、そして周囲への呼びかけを積極的に行った。今だ人材不足は続いているが、4 名の採用に繋がり、少しずつではあるが働きかけの反響はみられている。

障害者家族支援等推進事業

ひだまりステイ

仙台市障害者家族支援等推進事業（ひだまりステイ）

仙台市障害者家族支援等推進事業は在宅の障害者（児）に対し、手軽に利用できる介護サービスを提供することにより、在宅の障害者(児)及びその家族の地域生活を支援することを目的とする

<利用登録者>

	法人内	法人外	計
利用登録者数	18人	23人	41名

<支援体制>

	管理者	サービス管理責任者	担当職員	介護人
ひだまりステイ事業	1人 (兼務)	1人	0人	3人

※西多賀工房

【実施内容・総括】

○利用実績

月	利用実績（時間）			月	利用実績（時間）		
	宿泊	日中・他	計		宿泊	日中・他	計
4月	280	96	376	10月	120	113	233
5月	230	114	344	11月	80	126	206
6月	280	114	394	12月	110	96	206
7月	240	126	366	1月	50	66	116
8月	310	131	441	2月	50	74	124
9月	310	160	470	3月	80	95	175
				合計	2140	1311	3451

※「日中・他利用実績」とは日中介護、外出介護、送迎、自宅介護の時間数

○前半順調に利用率が増えていたが、後半は利用者の多くがグループホームへ移行したこともあり、また介護体制の不足から受入が難しくなり、利用実績が減少した。

○共同募金の補助金申請が通り、ひだまりステイ用の車両を購入し、送迎希望者への対応をさらに広げることができた。

○障害の重い方の利用率が増え、利用者によっては介護人が二人での対応が必要な場合がある。また介護人不足と利用者対応の難しさもあり、西多賀工房職員が対応にあたるケースがある。

仙台市グループホームサポート事業

仙台市グループホームサポート事業

グループホームの開設及び運営に係る相談支援等の実施により、グループホームに関する他業種・多職種も含めたネットワークを構築し、グループホームの整備促進を図る

【実施内容】

- 開設運営相談支援 障害福祉サービス事業者等からのグループホームの開設及び運営に関する相談に対してグループホーム見学会の開催、電話での質疑による助言等を個別に行った。
- 賃貸物件を活用してのグループホームが多く、その場合大家の理解、消防・建築面の課題等、物件を扱う不動産会社の障害者グループホームの理解促進がグループホームが広がっていくためには大きなカギとなるため、宅建協会青葉支部の研修会で障害者グループホームについて話す機会をいただいた。
- グループホーム全国大会 I N仙台の運営・企画から携わり、全国から 430 名の支援者と 100 名の入居者を迎え、研修・交流等盛況に行うことができた。また全国大会をきっかけに集まった支援者が中心となり、「仙台市グループホーム連絡会」設立準備を進め、仙台市内の事業所へ呼びかけ、3月に設立総会を行い、サポート事業として大きな目標だった「仙台市グループホーム連絡会」を立ち上げることができた。(正会員：24 法人、賛助会員：6 団体、賛助会員（個人）：2 名)
- 障害者グループホームセミナー開催
 - 第一部 「グループホームのこれからの動きをつかむ」
 - 講師 日本グループ学会代表 光増 昌久 氏
 - 講師 千葉県障害者グループホーム等支援事業 支援ワーカー 桑田良子 氏
 - 第二部 「グループホーム人材育成の課題」
 - シンポジウム「グループホームの現場から」
 - 発表者 特定非営利活動法人ソキウスせんだい 管理者 相澤洸太 氏
 - サービス管理責任者 玉田純子 氏
 - 社会福祉法人わらしべ舎 管理者 森信吾 氏
 - サービス管理責任者 上田一雄 氏
 - 社会保険労務士 須田直樹 氏
 - オンワード・マエノ 課長 村山憲也 氏
 - コーディネーター 社会福祉法人みんなの広場 理事長 横谷聡一 氏
 - 第三部 個別相談会
- 仙台市グループホームサポート事業は2年間の期間限定事業で平成29年度で終了となり、今後のグループホームの開設支援や支援者研修・情報共有、連携等は3月に設立した「仙台市グループホーム連絡会」が担っていくこととなる。